



2学期スタート。キーワードは、「命」と「夢」。

37日間の夏休みが終わりました。本日の始業式で、私が話した内容のキーワードは「命」と「夢」です。(私が集会等で生徒に話す時は、いつも「夢+α」の話をするようにしています。)話の概略をお伝えします。

まず、「命」についてです。夏休み中に事故等がなく、全員で始業の日を迎えることができたことはうれしいことです。これから先も、事故や災害に関して、「自分の命は自分で守る。」という意識で行動して欲しいと思います。また、一学期はSNSを介してのトラブルや相手をたたいてしまうけんかがありました。これらは、相手の人格を大事にしない行動であり、相手の命を軽んじているとも言えます。これから先の時代は、「折り合いをつける。」ことが大切です。お互いが譲り合って、意見や立場が対立しないポイントを見つけなければなりません。そのためにも、話をする、コミュニケーションをとることを大事にしていきましょう。

次に、「夢」についてです。オリンピックが近づいてきたためか、報道等でスポーツの話題が多いように感じます。その中に、生徒の皆さんと同年齢のアスリートの活躍を見聞きします。私は、そんな人たちを見ると、「どう生きるか」という覚悟を感じますし、やるべきことをスピード感をもってやってきたのだろうなどと考えます。スポーツ選手がすべてではありませんが、私たちのまわりにも「覚悟やスピード感」をもって、活躍している方がたくさんいらっしゃいます。皆さんの心の中に、「体育大会が終わったら、勉強をがんばろう。秋桜祭が終わったら・・・。何とかなる。」などという気持ちはないですか。目標達成に向けた努力が不足している人は、覚悟とスピード感をもって学校生活を送りましょう。そうでないと、あと4か月ほどで、今年が終わってしまいます。

1 「命」について

- 自分の命は、自分で守る。
 - ・ 事故や災害から、命を守る。
- 相手の人格を守る。
 - ・ 暴力をふるわない。
 - ・ LINE等の書き込みは、誰が見ても非難されない内容か考える。

2 「夢」について

- 残り4か月で、亥年(今年)が終わってしまう。(1年生は、聞いていないのですが、今年の初めに、「猪突猛進」の話をしています。)
 - ・ 覚悟をもち、今やるべきことをスピード感をもって、突き進もう。

夏休み中の門中生の活動紹介



門川町中学生海外派遣研修事業出発式の様子です。8月6日(火)に門川町を出発し、オーストラリアでホームステイを行い、8月15日(木)に帰ってきました。10名の生徒が、異文化交流を行ったり、英語でコミュニケーションを図ったりして、充実した体験活動になったようです。これからの進路選択等に役立つ体験であったと思いますし、体験で学んだことを学校にも広めてくれるものと期待しています。



8月21日(水)に県庁で開催された、宮崎県いじめ問題子供サミットの様子です。本校からは、生徒会長 品部 絢星 さん、副会長 寺田 愛海 さんが出席し、いじめ問題に対して生徒会で取り組んでいることを発表したり、県内6校の中学生とともに意見交換をしたりしました。二人の発表態度は堂々としており、全校生徒に取ったアンケート結果を提示して、説明するなど具体的で分かりやすいものでした。今後、生徒会は「いじめゼロ宣言」の作成を予定しています。生徒自身が、いじめ問題に対する意識を高めていく姿を期待しています。

多くの生徒が、県や門川町主催事業等で有意義な体験をしています。また、各家庭や地域においても、普段の学校生活ではできないような体験をしているはずで、そのような体験を通して学んだこと(相手を思いやる心や我慢すること、ルールを守ることなど)を2学期の学校生活で生かしてほしいと思います。

【その他の活動】

- 県中体連夏季大会
 - ・ 多くの部活動が県大会に出場しました。特に、九州大会に出場した、寺原さくら さん(柔道)、九州大会で優勝し、全国大会ベスト8になった、男子ソフトボール部は、大変よく頑張りました。
- PTA 奉仕作業(8月18日)
 - ・ 多くの生徒と保護者が、グラウンドを中心に除草作業を行いました。
- グローバル・キャンプ(8月20・21日)
 - ・ 本校生徒が、宮崎大学の外国人留学生と国際交流を行いました。